

リノベしてステキに暮らす!
いくのdeリノベ

身近なまちの保健室

桃谷商店街を通り抜けた疎開道路沿いのビルの2階。ドアを開けると、小林知加子さんが笑顔で迎えてくれた。ここは、2018年9月に開設された医療・健康関係の書籍を置く小さな図書室「まち健康ライブラリー陽の芽」。有料ではあるが、予約もいらず、自由に本を選び調べものをしたり、小林さんが健康や医療の相談にも乗ってくれる、そんな場所だ。というも、小林さんは週の半分は病院などに勤める現役の医師でもある。



小林さんは、医師としての人生のほとんどを、産業医や健診・人間ドック医として、たくさんの方の心身の不調と向き合ってきた。また、友人の紹介で知ったボランティア先では、心の不調で学校や仕事に行けない若者たちに料理を教えたり、いろいろな世代の方から心身の悩みの相談を受けたりした。そんな経験の中で、「ちょっと気になっている体のことを、気軽に聞ける場所が身近にあれば」という思いが芽生えてきた。イメージは「まちの保健室」。人生は一度きり、やりたいことをやろう、そう決めた。

ボランティア活動を通じて知り合った、建設業を営む「いたや」さんから、会社の2階を借りられることに。遮るものなく広い空が見える大きな窓に魅せられ、一目でここに決めた。築数十年の古い建物。なるべくお金をかけずにリノベーションすることに。壁には漆喰を塗り、天井はピンク色に塗った。カーペットをはがした床には、接着剤の跡が残っていたが、その上から白く塗った。その跡が波目の模様となり味わいが出た。最初は派手過ぎるかと思った天井のピンク色だが、ペンダントライトの電球色と窓からの日の光が溶け込み、柔らかで温かな空間となった。

自分の心に素直に向き合い、自然体で生きる小林さん。きさくな人柄が、今日も訪れる人の肩の力を抜いていく。



★まち健康ライブラリー 陽の芽
 勝山北3-2-25 いたやビル203号 ☎6717-9377
<https://www.hinome-lib.com>

ブログでは
 写真を追加
 して紹介して
 います。



生野区在住で、古い家屋をリノベーションし、自分らしい暮らしをしている方を紹介してください。

連絡先 企画総務課 ☎6715-9683
 〒544-8501 生野区勝山南3-1-19

★空き家の相談はこちら
 地域まちづくり課 4F ☎6715-9734

もっと知れば
 もっと好き

60カ国以上の方が暮らすまち /



Daniel さん
 (ダニエル)

ドイツで働いていたが、日本語を勉強するためワーキングホリデーで来日。1年過ごしたのち帰国するも、2019年10月に再来日。日本語学校で勉強しながら、英語からドイツ語への翻訳の仕事もする大忙しの日々を送っている。



(グーテンターク)
Guten Tag!
 こんにちは!

ミュンヘンからやってきました

大都市なんだけど、旧市街が残っていたり古城や教会があって美しいところなんだ。日本でもよく走ってるBMW社の本社がミュンヘンにあって、僕は日本に来る前そこで働いたんだ。日本語をしゃべれたら仕事の幅が広がると思って日本に来ることを決めたよ。



▲ノイシュヴァンシュタイン城

日本の印象は?

“Super clean!” ゴミが通りに落ちてないなんてすばらしいよ。それに、とっても安全だよ。僕は日本に来て、電車の中で2回スマホを置き忘れたんだけど、2回とも盗られずにちゃんと僕のところに帰ってきたんだ! まちがきれいで、安全で、それに電車は時間通りに走っている、世界でこんなところ他にはないよ! 僕は日本のいろんなところを旅行したけど、大阪が一番好きだよ。人も優しいし、食べ物もおいしいからね。忙しい毎日だけど、僕はこのまちでほんとうに気持ちよく過ごせているんだ。

IKUNOX×グローバルは生野区ブログでも発信しています。

生野区 チームいくみん通信



ものづくり企業は地域の誇り /

ピックアップ **生野ものづくり百景**

松田食品工業株式会社

関西シェアNo.1!
 進化し続ける“おあげさん”

現社長の父親の代に“町のお豆腐屋さん”として昭和21年創業。現在は、味付け油揚げを中心に大豆加工食品などの製造・販売を行っている。

いなり寿司やうどんに欠かせない“おあげさん” (味付け油揚げ)。各地域で好まれる味やお店のニーズを開拓し、おいしいと思ってもらえるものを作り続けてきた結果、なんと約300種のおあげさんを取り扱うまでになり、関西ではトップシェアなのだとか。

大豆由来のおあげさんは、ヘルシー志向の若者からも人気が高まっており、日本食ブームにより外国企業からの注文も増えているという。最近では、チョコやフルーツの味付けをしたカラフルな商品など、常識にとらわれない新商品の開発にも意欲的だ。いつの時代も社会の変化を捉え、“攻め”を貫く姿勢が、会社の発展を支えている。



▲社長の松田浅三さん



▲海外輸出用のカラフルなおあげさん!



商品のほとんどが企業向け。デパートや、スーパー、うどん屋さんなどに出まわっている。意外と身近な存在かも?



松田食品工業株式会社
 〒544-0005 中川5-4-21
 ☎6758-5501

“きらりと光る”ものづくり企業をたくさん紹介しています。

生野区 ものづくり百景

